

たいわ 町議会だより

友だち100人できるかな
(吉岡小学校入学式)

3月定例会の主な内容

今後4年間の教育ビジョンを問うほか一般質問者15人

なじよなったの？あの提言は

4～14ページ

15～30ページ

31ページ

大和町バスターミナル



体育館内の風景

開放感溢れる体育館
以前の体育館より明るく、天井も高くなり広々としていて開放感があります。1階に窓やベンチが付いたりしてとても使いやすいです。部活動では、この体育館で一生懸命練習し、試合で勝ちたいです。



体育館を利用する生徒



宮床中学校 体育館

春オープン

【利用事業者など】

- 路線バス
宮城交通(株)、(株)ミヤコーバス
- 高速バス
(株)ミヤコーバス、JRバス東北(株)
- 住民バス
大郷町住民バス、大衡村住民バス、
大和町民バス、富谷町民バス
- スクールバス
東北高等学校、仙台育英学園高等学校
明成高等学校、東北生活文化大学高等学校



みんななかよし

残してほしいです。
くさん作り、良い思い出を
ごしてもらい、友だちをた
ます。子どもには楽しく過
談しやすいのも安心して相
ランから若い人までいて
心です。また、先生もベテ
ティーなどの面がとても安
屏の施設などセキユリ
安心な保育



保育園を利用する根本さん

大和すぎのこ 保育園

内容

条例の改正や補正予算、新年度予算、人事案件などを慎重に審議し、一般質問は15人の議員が、町の対応や考えを問いました。

3月定例会の審議内容

条 例	結果	賛：反	平成 24 年度補正予算	結果	賛：反
行政区設置条例	可決	17：0	一般会計補正予算	可決	17：0
暴力団排除条例	可決	17：0	国民健康保険事業勘定特別会計補正予算	可決	17：0
保育所条例	可決	17：0	平成 24 年度大和町介護保険事業勘定特別会計補正予算	可決	17：0
指定地域密着型サービスの基準を定める条例	可決	17：0	宮床財産区特別会計補正予算	可決	17：0
指定地域密着型介護予防サービスの基準を定める条例	可決	17：0	吉田財産区特別会計補正予算	可決	17：0
指定地域密着型サービス事業者の基準を定める条例	可決	17：0	落合財産区特別会計補正予算	可決	17：0
町営住宅等整備基準条例	可決	17：0	奨学事業特別会計補正予算	可決	17：0
町道の構造の基準を定める条例	可決	17：0	後期高齢者医療特別会計補正予算	可決	17：0
町道に設ける道路標識の寸法を定める条例	可決	17：0	下水道事業特別会計補正予算	可決	17：0
町道の構造に関する基準を定める条例	可決	17：0	農業集落排水事業特別会計補正予算	可決	17：0
特定公園施設の設置に関する基準を定める条例	可決	17：0	戸別合併処理浄化槽特別会計補正予算	可決	17：0
準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例	可決	17：0	水道事業会計補正予算	可決	17：0
職員の給与に関する条例の改正	可決	17：0	平成 25 年度予算		
非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の改正	可決	17：0	一般会計予算	可決	16：1
町財産の交換，譲与，無償貸付等に関する条例の改正	可決	17：0	国民健康保険事業勘定特別会計予算	可決	17：0
廃棄物の処理及び清掃に関する条例の改正	可決	17：0	介護保険事業勘定特別会計予算	可決	17：0
敬老祝金等支給条例の改正	可決	17：0	宮床財産区特別会計予算	可決	17：0
地域活動支援センター条例の改正	可決	17：0	吉田財産区特別会計予算	可決	17：0
認知症高齢者グループホーム条例の改正	可決	17：0	落合財産区特別会計予算	可決	17：0
デイサービスセンター条例の改正	可決	17：0	奨学事業特別会計予算	可決	17：0
町営住宅管理条例の改正	可決	17：0	後期高齢者医療特別会計予算	可決	17：0
道路占用料等条例の改正	可決	17：0	下水道事業特別会計予算	可決	17：0
都市公園条例の改正	可決	17：0	農業集落排水事業特別会計予算	可決	17：0
都市下水道条例の改正	可決	17：0	戸別合併処理浄化槽特別会計予算	可決	17：0
下水道条例の改正	可決	17：0	水道事業会計予算	可決	17：0
水道事業の設置等に関する条例の改正	可決	17：0			
水道事業給水条例の改正	可決	17：0			
宮床財産区職員定数条例等の廃止	可決	17：0			
吉田財産区職員定数条例等の廃止	可決	17：0			
落合財産区職員定数条例等の廃止	可決	17：0			
そ の 他	結果	賛：反			
平成 24 年度町道吉田落合線請負契約の変更	可決	17：0			
平成 24 年度公共駐車場待合所等新築工事請負契約の変更	可決	17：0			

人事案件

副町長

【審議結果】同意 賛成 9 反対 8

新任 遠藤 幸則氏 (62歳) 吉岡字古館



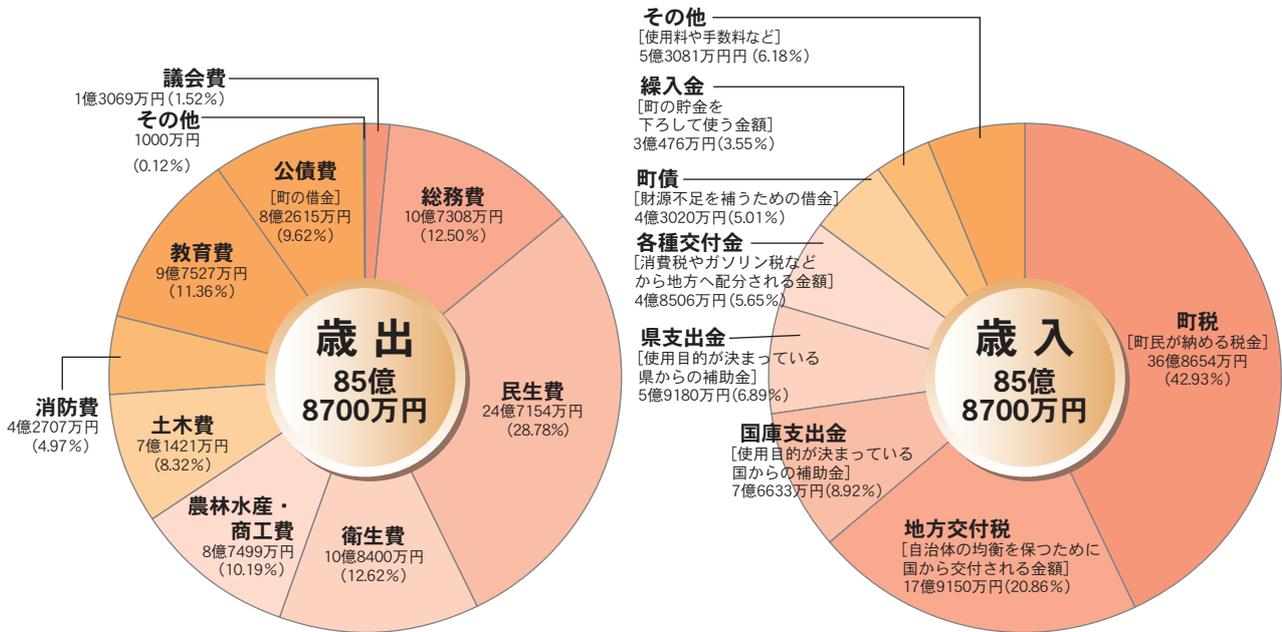
固定資産評価審査委員

【審議結果】同意 賛成 17 反対 0

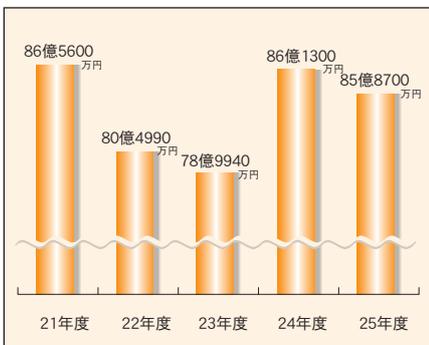
再任 佐藤 芳宏氏 (68歳) 北目大崎字町頭

3月定例会 (会期 2月27日～3月14日)

新年度予算を分析



5年間の一般会計予算の推移



町民一人あたりの支出予算額

32万2129円
(昨年度と比べ3356円減)

平成25年3月末
人口2万6657人による試算

- 教育費 3万6586円 (1万389円増)
- 土木費 2万6792円 (426円増)
- 消防費 1万6021円 (404円増)
- 議会費 4903円 (285円増)
- その他 375円 (8円増)



- 総務費 4万225円 (3565円増)
- 民生費 9万2716円 (9808円減)
- 衛生費 4万665円 (2634円減)
- 農林・商工費 3万2824円 (1114円増)
- 公債費 3万992円 (25円増)

平成25年度 歳出分		予算額	前年度比	増減率
一般会計		85億8700万円	▲2600万円	▲0.3%
特別会計	国民健康保険事業会計	23億1148万円	1億3540万円	6.2%
	介護保険事業会計	16億4435万円	1億8897万円	13.0%
	宮床財産区会計	1355万円	▲2177万円	▲61.6%
	吉田財産区会計	777万円	86万円	12.4%
	落合財産区会計	529万円	▲16万円	▲2.9%
	奨学事業会計	1007万円	36万円	3.7%
	後期高齢者医療会計	1億9915万円	347万円	1.8%
	下水道事業会計	8億8598万円	8366万円	10.4%
	農業集落排水事業会計	6189万円	▲272万円	▲4.2%
	戸別合併処理浄化槽会計	5055万円	▲342万円	▲6.3%
	特別会計合計	51億9008万円	3億8465万円	8.0%
	企業会計	水道事業会計	11億894万円	1177万円
総額		148億8602万円	3億7042万円	2.6%

町の未来を語る



豊作めざして

みやぎの元気を創造する
産業のまちづくり

【農業】

▼水田農業構造改革対策推進費や水田営農条件整備事業費補助金を中心に事業を推進



施政方針を述べる浅野町長

▼県営ため池整備事業、中山間地域直接支払交付金事業、農地・水保全管理支払交付金事業の継続

【林業】

▼森林の多面的機能保持のため森林整備活動支援交付金事業や森林病害虫等防除事業の推進

【商工業】

▼企業誘致を推進
▼中小企業振興資金の利子補給や債務保証料などの支援継続
▼商店街活性化のための経営改善普及事業や地域総合振興事業
▼震災復興のための割増商品券発行事業支援

美しい自然を大切にする
環境のまちづくり

【環境】

▼再生可能エネルギー導入事業で町内公共施設への太陽光発電施設整備の実施
▼豊かな自然の保全のために環境美化推進員を設置し、環境衛生組合活動費などを用いて、環境保全事業を実施

安心した生活がおくれる
福祉のまちづくり

【子育て支援】

▼大和町あんしん子育て医療費助成の継続実施
▼大和町保育所の社会福祉法人柏松会による「大和すぎ



じいちゃん あれ買って～



もみじヶ丘保育所



いつでもご利用ください



便利になるな～

▼11月に子どもミュージカル開催

▼学力向上パワーアップ支援事業、学校地域共学推進事業の継続

▼学習支援員、小学校学級支援サポーター、図書支援員の配置や外国語指導助手配置事業の継続

▼クラス数増加見込みに対応した小野小学校増築、吉田教育ふれあいセンターなどの各種施設の修繕工事実施

▼厚生医療、補装具給付、障がい者福祉サービス給付などの継続実施

▼検診率向上のため受診者一部負担金の引き下げ

▼老人クラブやシルバー人材センターなどの組織育成強化、敬老会の開催や敬老祝い金の支給

▼大和町バスターミナルの供用開始

▼高田線や柿ノ木線、下原線などの舗装修繕や側溝・歩道修繕

▼重要橋りょう40カ所の長寿命化修繕計画の策定

▼放課後子ども教室の増設



県代表としてがんばります

▼地域防災計画の見直し

▼町道舞野蒜袋線と準用河川明ヶ沢川の改良検討調査

▼全国女性消防操作大会への出場

▼災害に強く危険の少ない安全のまちづくり

▼大和町バスターミナルの供用開始

▼高田線や柿ノ木線、下原線などの舗装修繕や側溝・歩道修繕

▼重要橋りょう40カ所の長寿命化修繕計画の策定

施政方針演説を聴いての感想

総務常任委員会

委員長 伊藤 勝

厳しい財政状況のなかでの予算編成。地域発展に向けた取り組みが徐々に実を結んできているので、引き続き適切な予算執行を期待する。

社会文教常任委員会

委員長 中川 久男

学力向上対策、敬老会の充実、中学生までの医療費無料化を着実に進め、子どもの増加の対応に期待する。

産業建設常任委員会

委員長 堀籠 英雄

農林業の経営基盤の確立に向けた取り組みや企業誘致など農商工バランスのとれた「元気を創造するまちづくり」に向け、着実な実践を望む。

予算特別委員会を設置して 各課の事業をチェック



熱心に傍聴



委員長を務めた馬場久雄議員

大きな問題になる前に

問 顧問弁護士との契約内容は、

答 年間契約とし、報酬は月5万円である。昨年は学校関係や被災住宅の家屋調査など10件程度相談している。また裁判になった場合は別に費用が発生する。



区長会総会

頼りにしてまず行政区長

問 区長報酬と区長会への補助金は、

答 定額の平均割と世帯数で加算される世帯割で算出され、1区当たり平均48万円

(全61区)を予算計上した。補助金は、区長の運営経費で一人あたり7000円である。

気軽ににご相談ください

問 犯罪被害者支援の窓口は、

答 大和警察署から要請があり、昨年12月に総務課内に窓口を設置し、広報たいわ1月号で知らせた。



気軽にご相談を

万が一に備えて

問 木造住宅の耐震診断と家具転倒防止の事業内容は、

答 昭和56年5月30日以前に建築さ

れた木造住宅を対象に費用を補助する。家具の転倒防止は、自分でできない方を対象に材料代は自己負担とし、作業は黒川職工組合に委託する。普及に努めていく。

分かり易い決算を

問 新公会計制度基準モデル整備事業は、

答 国の指導に基づき公営企業の会計方式で決算分析を委託しており、最新の方式で実施している。



大切な情報



いつも安全運転

安全運行を

問 公用車の点検と安全管理は。

答 車両は、点検簿、整備簿で管理している。運行面では安全運転管理者を置き指導にあたっている。特にマイクロバスの運行は大型二種免許所有者としている。

節度を忘れずに

問 場外車券場交付金と周辺への影響は。

答 車券売上げ代金の0.5%が交付

され、本年度は812万円を計上した。設立当初、周辺への影響に

関し、地域の代表者と関係機関で協議したが、安定しており問題なく、昨年は開催していない。

待望施設の充実を

問 杜の丘地区の防災センターにも

太陽光発電を。

答 平成25年から27年の3力年で県の基金を利用し、庁舎

および避難所5カ所に設置を予定している。杜の丘地区の防災センターにも同様の設備導入を検討する。

頼れる住民の足

問 町民バスとスクールバスの統

合は。

答 町民バスとスクールバスはそれぞれ別な許可を得て

運行している。一本化が可能か法的な解釈を含め、研究していく。

地域づくりのため

問 まちづくり団体への補助金とその効果は。

答 まちづくり活動推進会、ふるさと産品開発協議会、まほ

ろばまちづくり協議会、まちづくり遊楽塾へ年95万円補助している。それぞれの団体で地域づくりや伝承活動に寄与している。

防衛省の補助事業

問 防衛省の補助事業の計画は。

答 平成25年度は、柿ノ木線、松木上舞野線、高田線の舗装改良事業である。



広くなる柿ノ木線

下水道の普及は

問 下水道の整備計画は。

答 マンホールポンプの長寿命化（杜の丘および幕柳）を計画している。杜の丘は停電時対応として自家発電を整備する。公共下水道の水洗化率は84.7%である。

企業誘致のターゲットは

問 本年度の企業誘致の見通しは。

答 電子機械関連、自動車関連、医療機器関連など約85社の誘致活動に取り組む。

嫁に來ないか

問 結婚アドバイザーの活動状況とその成果は。

答 毎月2回結婚相談所を開設し、延べ65組が相談にきている。結婚相談は、他にも実施されている機関もあり、関係機関との情報を共有するなど連携を密にし、成果が上がるように努める。

中小企業の振興対策は

問 中小企業振興資金の利子補給事業で何件の申請を見込んでいるか。

答 利子補給事業は、継続で一般枠93件、災害枠18件が対象になっている。また、損失補償は1件もない。

利用者目線の施設に

問 観光施設の整備をどのようにしていくのか。

答 施設を快適に利用してもらえ、トイレの洋式化など衛生面、環境面にも配慮し整備する。



話が弾む“君とプロジェクト”

ねぎで収入アップを

問 曲がりねぎに対する補助事業の内容は。

答 曲がりねぎは、高収入にもなることから生産者も増えている。ねぎの管理機に対する補助事業で5台分を予定している。



おいしい曲がりねぎ



子どもミュージカル

なぜ減額されたのか

問 学力向上パワーアップ事業がなぜ減額されたのか。

答 家庭学習ノートは各家庭で保護者と一緒に子どもが取り組む自由帳になっている。今回保護者負担としたので減額となった。標準学力テスト、サマースクール、ウィンタースクール、家庭学習ノート、学習の手

引き、教育講演会が学カパワーアップの主なものとなる。

子どもミュージカル開催

問 文化振興協会への補助金、平成24年度の当初予算と比較

し300万円増加している。補助金を増加した理由は。

答 子どもミュージカル開催を予定している。

本に親しみを

問 子どもたちの活字離れの中で、図書館は。

答 新しい本を入れ、図書支援員を配置し、子どもたちを読書へ向かわせる指導を行っている。



給食センター



読み聞かせ

理科実験の充実を

問 理科実験の経費を予算化せよ。

答 実験に必要な備品は、ヒアリングをし、教育委員会で調査して、予算計上をする。



目指せノーベル賞

よく見て食べてね

問 学校給食のアレルギー対策は。

答 除去食の提供はしていない。保護者には給食の献立表に成分表を添えて情報を提供している。アレルギーの児童は各自おかずを持参している。

生活保護の状況は

問 生活保護を受けている人数と年齢構成は。

答 町の生活保護世帯は163世帯、258人、40代から60代の世帯が多い。



楽しい敬老会

答 敬老祝い金は5000円、アトラクションは1行政区3万円とし、アトラクションの充実を図っていただきたい。

児童館の受け入れを

問 長期休暇時の児童館受け入れ時間。

答 児童館は、7時半にはまだ対応はしていない。

問 敬老会、敬老祝いをどうするか。

答 アトラクションを工夫してもらう。

新年度予算質疑、 各課を問う



62年間ご苦労さま

子育て支援施設整備を
問 もみじヶ丘保育所は、プレハブで増築することとなったが、人口増加が予測されるなか、適切な整備が必要では。
閉所する大和町保育所跡地の利用計画は。
答 もみじヶ丘、杜の丘地区の0歳から5歳までの人口は両地区で656人で、今後も大幅な増加が予想される。そのため新たな施設が必要である。今回のプレハブでの増設はあくまで緊急であり、児童館の整備も含め、適切な整備計画を早急に立てていく。
大和町保育所跡地は、多く人の意見を聞き、より良い子育て支援施設として整備計画をつくる。

子育て支援課、町民生活課、教育総務課、に問う

わた なべ よし お
社会文教常任委員会 代表 **渡 辺 良 雄**

資源回収率向上を
問 家庭ごみ分別とリサイクル率向上に対する町民への啓発が必要では。
答 平成23年度の生活ごみ総量は7484トン、資源化率は11・11%であった。一人当たりの生活ごみの量が増加している。ごみの分別とリサイクルを広報や町環境衛生組合連合会などを通じ普及を図る。資源回収をしているのは、41団体、回収率は、38・7%になっている。子ども会、老人クラブなどに呼びかけ、増加を図る。
山田埋立地の有効利用を図って
問 山田埋立地の有効利用を図って
答 埋め立て終了後14年が経過している。どのような土地利用が可能なかを調査してきた。日照が悪く面積も足りない状況で太陽光発電は採算が

取れない。今後は周辺山林も含め調査をしていく。
教育施設の計画的修繕を
問 吉田教育ふれあいセンターの修繕は塗装、張り替えの両面での検討が必要では。また、教育施設の修繕を急ぐ必要があるのでは。
答 吉田教育ふれあいセンターの工



分けて出してよ～

事は専門業者の意見を参考にし、塗装で対応する。教育施設の修繕は、学校・保護者からの要望を踏まえ、修繕5カ年整備計画を策定している。今年度は、吉田教育ふれあいセンターのほかに、吉岡小学校駐輪場設置、宮床小学校のパソコン教室の壁を改修する予定である。



リサーチパーク

人・農地プランの策定を急げ

問 人・農地プランのアンケートを実施したが、農業振興方策での位置付けと結果を今後どう活用していくのか。

答 集計結果をまとめており、各集落にフィードバックし、今後の農業経営のあり方を話し合ってもらおう。農地の多面的機能の維持と食料自給率向上を図るため、より効率的な経営と後継者不足への対応が今後の農業振興方策の中心になってくる。

企業誘致の見通しは

問 150社以上の企業が操業され、人口増加など経済の活性化に寄与している。

答 企業の誘致は、地域内の活性化と雇用への弾みともなり、地域の継続的な活力維持・向上のためにも必要と考えており、今後とも県と協議し誘致活動を進めていく。

産業振興課、都市建設課、に問う

産業建設常任委員会 代表 **今野善行**

島田鮎まつりを売り込め

問 縁結びのイベント「島田鮎まつり」は、実行委員会が中心になり開催されている。町はどのような位置付けで関わっているのか。また、本町の「伝承文化」に位置付け、中心市街地の活性化に結び付くようにさらなる宣伝の強化を。

答 実行委員会に本町職員も参画し「花嫁道中行列」も合わせ、催しの内容を検討している。ホームページやミニコミ誌などを通じて宣伝に努めているが、本町の文化・観光資源として官民一体となり地域文化の伝承を通じた地域経済活性化のため企画していく。

町道の維持管理は

問 町道は、補修・改良が必要な所が随所に見受けられる。企業立地、人口増加による通行車両の増加も

あり、通勤・通学の安全性の確保のため一層の維持管理が求められるがどのように考えているか。

答 パトロールや住民からの情報により、修繕を行っている。

維持管理5カ年計画に基づき整備を行っているほか、緊急性や危険度、補助事業など総合的に優先順位を定めて計画的に整備を図る。



にぎわう島田鮎まつり



真剣に取り組む防災訓練

防災計画の見直しは

問 大震災で浮き彫りとなった課題を教訓として、避難所対応、運営マニュアルを含めた防災計画の見直しは。

答 現在の防災計画は大震災前に宮城県地域防災計画と整合を図って平成18年3

月に改定したもので、「震災対策編」と「風水害等災害対策編」で構成されている。

大震災を契機に国の防災基本計画との整合性を取り、見直しする。原子力災害対策も国や県の指針を参考に策定したい。

総務課、まちづくり政策課、財政課、に問う

まつ かわ とし みつ
松 川 利 充
総務常任委員会 代表



太陽光パネル（柴崎）

再生可能エネルギー導入で町有地の有効活用を

問 当初予算に再生エネルギー導入事業に事業費計上しているが、これを契機に、民間の力を使って町有地の有効活用を図っては。

答 本事業は環境省のグリーンニュー딜ールにより県が基金造成し、防災拠点や避難施設に再生可能エネルギー導入をする場合、補助される。今年度は役場庁舎に太陽光パネルを設置し停電に備える。

宮床ダム西側広場や山田埋め立て処分場跡地などの町有地での民間事業者の取り組みは今後も研究していく。

公共施設を一括管理すべきでは

問 老朽化施設を各課で管理修繕しているが、財政課で財産台帳を一括管理し、計画的に修繕すべきでは。

答 行政財産は各所管課で管理し、普通財産は財政課が管理維持修繕を行っている。施設台帳には県への報告義務があり普通交付

税の算定基礎となる学校施設台帳や道路台帳がある。新公会計制度により各種資産の減価償却方式での把握管理をはじめている。施設の構造や使用頻度、建設年度、立地条件により老朽度に差があるが、資料などの活用と庁内情報の一元管理により計画的な修繕管理に努める。



歴史ある武道館

予算は適正か

各会計ごとに採決

その前に討論

一般会計

私は反対

藤巻博史議員



商工振興費を約10社への企業立地奨励金関係で占めている。立地すると税金が入ってくるが、町おこしではいかがなものかと思う。

私は賛成

堀籠日出子議員



以前から進めている事業であり、企業立地により企業従業員の定住による人口の増加や町税の増加など結果も出ている。雇用の面を含め、町の発展に繋がる。

私は賛成

伊藤 勝議員



震災からの復興を成し遂げるために自動車、高度電子機械などの中核となす産業のさらなる集積は不可欠。奨励金が増額したということは、それだけ多くの企業が進出し、それに税収が伴う。効率的な執行に期待。

私は賛成

堀籠英雄議員



予算編成にあたっては、中期財政見通しを分析し、厳しい財政状況を職員一人ひとりが認識したうえで、主要事業を盛り込んだ適正な予算提案である。昨年度の復旧復興からまちづくりを目指した予算編成である。

声

傍聴者の



波間 妙子さん

町政に関する条例改正の説明などを聞けてよかったです。議員さん方が、真剣に取り組まれている姿勢を見ることができて、よかったですと思います。



佐藤 陽子さん

ずっと傍聴に来ていたのですが、改選後に始めて傍聴に来ました。会場が若返ったようないい雰囲気を感じられました。大和町の課題に対して真剣に取り組んでいる姿を見ることができて、大変よかったです。

傍聴してみませんか？
面倒な手続きはありません。1人でも団体でも傍聴できますので、お気軽にお越しください。

一般質問 「ここが聞きたい、これを言いたい」

町政を問う

15人の議員が、町長と教育長に質問



1. 千坂 裕春 議員
今後4年間の
教育ビジョンを問う
他2件 (16ページ)



9. 馬場 久雄 議員
サブロー券発行事業の毎年継
続を
他1件 (24ページ)



2. 伊藤 勝 議員
介護保険制度の改善について
他2件 (17ページ)



10. 槻田 雅之 議員
杜の丘ともみじヶ丘との法面部
分の通路は通学路として安全か
他1件 (25ページ)



3. 浅野 俊彦 議員
従来地域活性化の調査研究状況は
施政方針に対して (18ページ)



11. 高平 聡雄 議員
各部署の自治体データの共有化を図り、戦
略的な地域経営のための地理情報システ
ム(GIS)の活用方法を探れ他1件(26ページ)



4. 堀籠 日出子 議員
病後児保育で子育てと就労の
両立支援を
他1件 (19ページ)



12. 堀籠 英雄 議員
嘉太神の震災ゴミの処理はどうする
他1件 (27ページ)



5. 松浦 隆夫 議員
「まほろばタウン吉岡みなみ」の
まちづくりについて (20ページ)



13. 中川 久男 議員
吉岡西部地区開発の見通しは
他1件 (28ページ)



6. 渡辺 良雄 議員
災害弱者情報を開示し、
共有を図れ
他1件 (21ページ)



14. 藤巻 博史 議員
学校における体罰について
施政方針に対して (29ページ)



7. 今野 善行 議員
森林資源を活用した林業再生
の推進について (22ページ)



15. 平渡 高志 議員
総合案内人の採用を
他1件 (30ページ)



8. 門間 浩宇 議員
県環境事業公社への災害廃棄
物(焼却灰)の受入れ状況は
施政方針に対して (23ページ)



議員 春裕 坂崎 千

4年間の教育方針は

教育長 心を込め、根気強く進める

議員 学力向上およびいじめへの対応は。

教育長 職員研修の充実による分かる授業、家庭学習の充実の施策を実施してきたが、今後も継続する。また、新たに個人差に対応した学びの場を設ける。いじめ問題に対しては、毅然とした態度で対応する。事案を確認した時は、関係機関と連携を図る。

議員 教育委員会の役割および教育長と委員の連携は。

教育長 安全な学校生活を送れるよう、定例の委員会に加え、臨時の委員会を開催し、常に委員と情報を共有していく。教育に近道はないと言われるように、心を込め、手間暇をかけ、根気強く推し進めていく。



先生よくわかりました

苦情対応の現状は

町長 担当課で対応

議員 苦情の対応体制は。

町長 担当課が対応し、ほとんどその場で解決している。全体に関する苦情は、総務課で、関係課と情報を共有し対応している。

議員 民間企業は、苦情を会社の財産と捉え、積極的に対応している。また、二

度と苦情が発生しないよう社内教育に採り入れている。寄せられた苦情を職員全体で共有しているか。

町長 苦情の内容は、事務処理の誤りや応対に関することが多い。この場合は、今後同じ事が発生しないよう課長が厳しく指導してい

関連政治家と連携強化を図れ

町長 緊密な連携を図る

議員 関連政治家との連携強化により、まちづくりの充実度、達成速度の向上が期待できるが、実績と今後の活動は。

町長 近隣首長と密に連携を図っている。国や県へ要望する時は、地元国会議員、県議会議員に同行を依頼している。企業誘致では、知事、大衡村長と連携を図り、短期間で成果を挙げた。今後も良好な連携を期待し、必要な方と連携を強化していく。

る。朝礼、庁議で情報共有を図り、今後、同じ誤りを起こさないこと、親切的な対応を心がけることを適切に指導している。

議員 苦情窓口を新設する考えはないのか。

町長 現体制で十分効果があるため、新設の予定はない。

介護保険制度の改善を

町長 次期計画まで見極める

議員 介護保険制度の改善

に福祉用具購入費および住宅改修費の補助を「償還払い」だけでなく、「受領委任払い」の導入を。

町長 福祉用具を購入した場合、10万円を上限に購入金額の9割を支給。手すりの取り付けや段差の解消を行った場合は、20万円を上限に工事費用の9割を支給する住宅改修費助成となっており、県内の14市町が受領委任払いの制度を導入している。個人経営の工務店などの理解を得ること、ケアマネージャーへの周知を

図るなど、事前準備が必要となる。実態調査を行い次期計画まで見極める。

一口メモ

償還払いとは

利用者が費用の全額をサービス提供事業者にいったん支払い、その後、申請を行い保険者である市区町村から、払い戻しを受けること。

受領委任払いとは

給付の受け取りをサービス業者に委任することにより、利用者が事業者に対して自己負担額のみを支払うようにすること。



女性の人材を募集せよ

町長 女性委員数は26.9%



ホームページやまほろばホールの幕に描かれる「七ツ森の賦」(日下常由作)

ダウンロードのサービスを

町長 環境を整備する

議員 ホームページからダウンロードできる申請書は

限られている。分野別、担当課別で探すダウンロードサービスの拡充を図っては。

町長 住民票、戸籍証明、税証明および閲覧申請書をホームページからダウンロードできる。

申請件数は、住民票、税務証明関係ともに月10件程度で、町外の方が郵送で申請されている。ホームページの検討と合わせ、申請書様式のダウンロード環境を整備していきたい。

平成24年4月1日現在の各種審議会における女性委員の登用率は26.9%となっており今後個人情報保護との関わりも含めて研究していきたい。



議員 伊藤 まさる

一般質問

議員 桐生市では、幅広い分野から女性を募集し、各種審議会、委員会など政策決定にかかわる人選に役立っている。女性の社会参画を取り入れては。

町長 平成22年策定した「第2次たいわ男女共同参画推進プラン」に基づく実施計画により女性の意見を広く取り入れることが必要であり、審議会委員への女性登用率の目標を30%としている。

従来地域活性化の調査状況は

町長 具体化に向け検討していく



浅野 俊彦 議員

議員 昨年6月定例議会で、従来地域(宮床、吉田、鶴巢、落合、吉岡旧市街地)での少子、高齢化が進み、就労世代と小・中学生の減少による地域活力低下を問題提起した。『子育て支援住宅整備』など新住民定住化対策が必要と提言した。実施事例や効果を調査研究するとの答弁であったが、現時点での調査・研究の状況は、

町長 地域コミュニティ維持のため、行政として支援策を講じる必要があると考え、色麻町の「定住促進団地分譲」「地域活性化住宅」事業を研究し、「デメリットはなく、地域活性化に貢献している。その他、大衡村や利府町を研究している。従来地域ではこの10

年間で人口が1330人減少しており、急務の課題と考えるが、現地調査を行ったのか。

町長 現地調査は行っていない。

議員 熊本県玉東町では町有地を無償で貸し付け、民間資本と社会資本整備総合交付金を活用し、1世帯あたり年間約10万円の行政負担で『子育て支援住宅事業』が成功している。本町でも早急に行うべきでは、

町長 本町にあった制度の研究を進め、具体化に向け検討していく。

当初予算編成の手順は

町長 適正効率的な編成をした

議員 予算編成にあたり、継続事業は、利用者の声をヒアリングし、見直し・改善を図っていく姿勢が重要であり、新規事業はアイデアと財源確保が重要と考える。予算編成をどのように

進めたのか。

町長 昨年10月、平成27年度までの中期財政見通しを策定し、予算編成説明会を行い、11月庁議で各課に指示した。12月中旬には担当課と財政課担当者にヒアリ

ングした。主要156事業(30億7300万円)を評価し、1億8700万円の事業を調整した。庁内で補助金を見直し、5%削減を行った。今後も経費削減と適正効率的な編成に努める。



定住化の決め手「子育て支援住宅」

病後児保育の設置を

町長 両立支援を研究

議員 育児と仕事の両立で

大変なのは、子どもの病気である。子どもが病気になると回復するまで何日も仕事を休むことになり、子どもの病気は女性の育児と仕事の両立を難しくしている。回復期にある乳幼児を預かる病後児保育を実施しては、

力が必要であり現状では厳しい状況にある。
議員 働く母親から病後児保育への期待が大きい。更なる取り組みは、
町長 支援の方策を研究する。

児童数減少への対策は

町長 維持するため転出抑制に努める



少人数でも大丈夫



こひでこ 議員
日出子
ひでこ
ごめ籠
ほり堀

一般質問

議員 本町の人口は年々増加しているが、人口増は吉岡南・もみじヶ丘・杜の丘で吉田・宮床・鶴巣・落合の人口は年々減少し、特に児童の減少が目立つ。現状をどう捉えているのか。

町長 小野小学校の児童数増加と他地区の児童数減少傾向を確認し、適正規模の学校運営を基本に教育環境の整備に努めるが、今の小学校は維持したい。

議員 人口減少対策の取り組みは。
町長 若年世代の転出抑制・新住民の定住化・町内職場の確保・工業団地への企業誘致に努める。

まほろばタウン吉岡みなみの まちづくりは

町長 組合と連携していく



まつ 松 うら 浦 たか 隆 お 夫 議員

議員 「まほろばタウン吉岡みなみ」は、大和町の発展に大きな役割を果たした。一方で、沿道サービス用地の販売が停滞している。保留地、特に沿道サービス用地の販売促進に協力しては、**町長** 沿道サービスの販売は、これまで福祉施設や事務所開設にあたり、組合と協力して、販売促進に努めてきた。

議員 町は昨年7月、組合との協議で当初保育所用地に位置づけた公益用地を「購入する計画はありません」との回答であったが、この広い用地を民間委託を含め、公益のために活用する考えは。

町長 町内進出企業の社宅建設用地として紹介したが、

契約には至らなかった。今後引き続き支援を行う。**議員** 洞堀川南地区の世帯数は、2月現在、180世帯近くに増加したが、行政区の立ち上げにはなっていない。町の行政サービスは、吉岡南三丁目区長の協力を得て実行している。早期に行政区を立ち上げるべきでは。

町長 今後も、吉岡南三丁目区長と連携し、地区内の班長の数を増やすことにより、住民のつながりを深めていくとともに、町内会活動を通しての人材育成をサポートし、新たな区を設置していきたい。



新しいまち「吉岡みなみ」

災害弱者の情報共有を図れ

町長 民生委員が把握

議員 人口増加の著しい吉岡南、もみじヶ丘、杜の丘地域では区長が災害弱者を把握できていないと思われ、災害発生時には迅速な救出活動が期待できない。独自の条例を制定して災害弱者情報を町内会に開示・共有して災害時の初期対応の向上を図っては。

議員 団地の区長は、要援護者の情報を持っていなかった。最近、他の市町村で情報開示の動きがあるが、

町長 平常時から個人情報を開示している市町村を、今後調査研究していく。

町長 民生児童委員協議会が、災害時要援護者をまとめた防災マップを2年ごとに作成しており、各地区の民生委員は担当地区の対象者を把握できている。



わた なべ よし お
渡 辺 良 雄 議員

教育施設の維持管理は 教育長 環境整備に努める

議員 教育施設は計画どおり保守されているか。また、保護者との意思疎通は図られているのか。

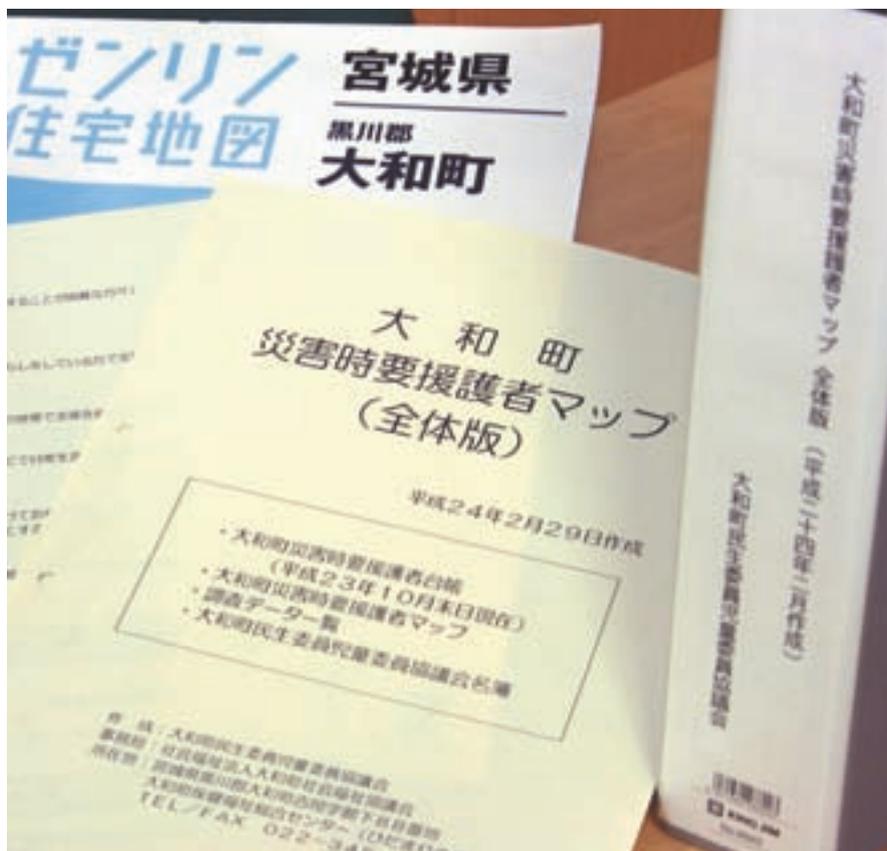
教育長 関係法令に基づき主な設備を中心に毎年専門業者に保守点検を委託している。安心して学習できる教育環境設備の点検維持を図っている。保護者との意

思疎通は各小中学校保護者から町PTA連合会を通して、教育施設の施設整備の要望を受け、可能な限りお答えしている。教育委員会は、学校を通して必要の都度保護者との意思疎通を図り対応する。

議員 教育委員会、各学校、保護者間の風通しはどうか。

それぞれの保護者の要望の声は、教育長まで届いているのか。

教育長 各種の会議を重ね意思疎通を図っているとこそであるが、今後、さらに意思疎通を図り、子どもたちの安心安全な教育環境の整備に努めていく。



災害に備えて

森林資源を活用した 林業の再生を

町長 森林・林業再生プランを推進



議員 行善の今

議員 原油など化石燃料価格の上昇が続くなかで、わが国でもバイオマス電力の固定価格買取が制度化された。

一方で、極度の林業不振は、森林から木材が出てこないだけでなく森林保全への投資がなされないのが現状で、森林のもつ多面的機能の発揮も十分なされていない。

本町総面積の72%が森林である。森林資源の利用による林業再生を図り地域の活性化に結び付ける林業再生策は。

町長 森林保全推進事業により森林組合などの活動支援を行い森林資源の質的な充実、水源保護など公益的機能の確保に努め森林整備

を推進している。

議員 町産木材利用奨励策やチップ、ペレットなど間伐材の利用促進が不可欠と考えるが、本町での利用拡充策は。

町長 平成22年に制定された「公共建築物における木材利用促進に関する法律」に基づき「公共建築物における木材利用の促進に関する方針」を策定中で、今後は、公共施設の整備にあたっては、できるだけ町産材を使用していくことにしている。本町の豊富な森林資源を色んな形で利用していくことは望ましいことであり、路網整備による低コスト化、資源の有効利用、木材の安定供給を図ろうとする「森林・林業再生プラン」を推進していく。



もったいない間伐材

焼却灰処理の管理体制は

町長 連携を密に監視する

議員 県環境事業公社への災害廃棄物（焼却灰）の受け入れを平成24年10月22日に環境保全協定を結び、1月より焼却灰の搬入が始まり、4月より本格的な運搬、処理が開始されるが、今後の管理体制は。

町長 この協定書は災害廃棄物の搬入および処理に伴う環境への汚染を未然に防止するとともに、周辺地域住民の安全と生活環境の保全を図ることを目的としている。焼却灰、不燃物、石綿含有物、廃棄物となった

肥料および肥料原料の4種類を放射能濃度8000ベクレル以下の物だけを最大20万トン搬入することとしている。4月からは1日最大60台のトラックにより本格的な搬入が始まる予定である。町では運搬や埋立処理が適正に行なわれているか、現地調査や放射能測定を実施している。今後も、協定書に基づき、交通安全対策や環境保全対策が適正に実施されているか、関係課で連携を密にし、監視する。

作業員を増員しては

町長 業務に支障きたすことはない



処理は適正に（小鶴沢処分場）



議員 宇 浩 間 門

一般質問

議員 道路改修事業関連で舗装修繕や側溝、歩道修繕工事は順次整備を行っていくとの事であるが、舗装、側溝修繕など維持作業員は2人である。町道路線への認定などで町道の距離が延

び、管理業務および住民からの要請、要望に支障が出てくるのではないかと。

町長 維持管理作業班の業務は、河川、橋、公園、緑地、町営住宅もあるが、大半が道路維持作業である。東日

本大震災での対応ではあまりにも甚大な被害だったのに対して、対応が遅れた所もあったが、通常時であれば、2人で業務に支障をきたすことは少ないと考えている。



議員 馬場 久 雄

サブロー券発行の毎年継続

町長 商工会と協議

議員 割増商品券は、平成16年度からの継続により消費者にも定着し大変好評である。消費者の町外流出防止、消費刺激策として功を奏している。毎年度の継続事業とすべきでは。

町長 中心商店街活性化策の一環として、平成23年度までそれぞれ200万円を補助しており、特に平成21年度は500万円を補助した。平成24年度は400万円を助成し「たいわ復興応援プレミアムサブロー商品券」として、発行額4400万円で開催され総体的には好評を得ている。商品券発行の取り組みや使われ方、効果をもう少し検証し、発行方法や内容を、発行元の商工会と協議し判断する。

新教育長として抱負は

教育長 教職員の資質と能力を高める

議員 教育行政のトップとして、学力向上対策を含めた抱負は。

教育長 教職員生活を通して

感じたことは、教育とは人と人との信頼の上に成立する。信頼される教職員が汗水を流し、児童・生徒の教育にあたり、保護者と地域がその姿を理解

し、親身に支援してくれる。そのことにより、より良い教育が展開されるということを実感してきた。

学力向上を実現するための最大の条件は、教職員の力にある。「教育は人なり」を実現するためには、資質と能力を高める研修の充実がなにより



好評のサブロー商品券

大切であると考えます。また、学ぶ力、学び続ける力を支えるものとして「心の教育」は大切にされるべきであり、すべての教育活動の基礎基本になると考える。今後の教育の方向性を固める。

杜の丘の通学路は安全か

町長 点検と整備に努める

議員 杜の丘の児童が小野小学校への通学路に、杜の丘5号公園（通称ふくろう神社）と杜の丘4号公園の脇の通路が主に使われているが、一部分を除き舗装されていいため非常に歩きにくい。この通路はもみじヶ丘と杜の丘、双方の住民にとって必要な生活道路となっている。防犯灯設置を含めた早急な整備は。

町長 杜の丘4・5号公園が通学路として利用されていることは認識しており安全に通学できるよう施設点検の実施と整備に努めている。

る。防犯灯設置などの整備は、公園利用者の実状を把握した上で、防犯上問題がある場所は関係機関・団体からの意見も聞き、町が都市公園における施設整備計画の中で総合的に検討する。



議員 之 雅 田 槻

杜の丘地区の施設整備は 町長 総合的に検討し取り組む



歩きにくい通学路

一般質問

議員 児童増加による小学校、中学校の教室確保は。
教育長 小野小学校は平成25年度20学級となり、多目的教室を改造し普通教室を確保する。また、宮床中学校は、学校南校舎での教室確保に向けた検討を始める。
議員 幼児・児童増加による保育所・児童館の整備は。

町長 もみじヶ丘保育所はプレハブ増設で2室を確保し、定数の見直しを図る。今後も子ども的大幅増加が予測され、新たな施設が必要となる。総合的に検討し、課題に取り組む。
議員 人口増加による集会場（公民館）の建設の必要性は。

町長 施設整備を具体化するにあたっての整備手法、スケジュールを整理し、補助事業の導入を検討している。また、施設の機能は防災機能と地域コミュニティの核となる施設の整備を考えている。



議員 高 平 とし お 雄

原子力災害の防災計画は

町長 原子力災害も加える

議員 本町は女川原子力発電所から概ね50kmの範囲に位置している。地域防災計画に「原子力災害対策編」を新たに加え、「原子力防災部会」を設置し、早急に防災計画の策定に着手すべきでは。

町長 防災計画は、これまで原子力災害への対応はないが、今後の改正作業で原子力災害対策にも着手する。

なお、原子力防災部会の設置は、地域防災会議の中で検討する。原子力災害に対する国の指針は出されたものの、具体的な対処法が決まっていないことも多く、計画策定に苦慮しているが国や県の指針を参考にし、策定する。



女川原発から 50km

地理情報システム(GIS)の活用法

町長 クラウド型の導入を検討する

議員 税務課、都市建設課、産業振興課、各部署が個別のシステムを整備・運用している。データは各部署でしか加工・閲覧できず、道路、街区、建物、河川などを庁内で共有する仕組みがなく行政特有の縦割り利用となっている。個別型GISから統合型GISへ移行

した場合、各部署で「共用空間データ」を利用しコストの重複を防ぎデータ作成費用を大幅に削減することができる。今後の個別投資を止め統合型GISへ移行すべきでは。

町長 平成18年に統合型GISシステム導入を検討した。当時は莫大な費用が掛

かることが判明し、費用対効果を考え導入を見送った。すでに運用ができる環境が整備され、今後予定している職員パソコン入れ替え時期に合わせて、クラウド型GISシステムの導入を検討する。

10Xメモ

クラウドとは
データを自分のパソコンに保存するのではなく、インターネット上に保存する使い方、サービス。



嘉太神の災害ごみは

町長 宮黒保健所と協力する

議員 吉田嘉太神ダム入口の旧県道沿いの山林に、大量のがれきが、一次置き場として未だにそのままである。重機を使い粉砕され、プラスチック類、木くず、畳などが混じっており、火災、水質汚染が心配される。住民の不安を払拭するため、早期の撤去を業者に求めるべきでは。

業者より資金ができたなら処理するとの回答である。今後春になると草やツタで現場が見えなくなる恐れがあり早期に撤去するよう宮黒保健所と協力して要請していく。

町長 事業場外保管場所として県より許可を受けている。ごみを所有地で破碎するのは法律の制限はないとの見解である。また、650mくらいあるごみ処理は



ほり 掘 ぐめ 籠 ひで 英 お 雄 議員

PM 2.5 の対応は十分か 町長 防災無線などで周知する

議員 PM2.5は非常に小さな粒子で、吸い込むと肺が炎症を起こし、息苦しくなる。血圧の上昇、不整脈、狭心症などの呼吸器や循環器に悪影響を及ぼす。本町にも旧役場の北側に大気汚染測定器がある。高濃度の際、国や県とどのように連携を図り対応し町民への指導、周知をするのか。

町長 平成24年末全国で502地点で監視しており県内で6局ある。環境省の暫定指針では1日平均70マイクログラム超の際、都道府県がホームページで注意を喚起する。本町としても国や県の動向を踏まえ、町民の健康への影響がでないようホームページや防災無線で町民に周知を図る。



大気汚染測定器（吉岡小学校）

一口メモ

PM2.5とは
大気中を浮遊する粒子状物質で髪の毛の太さの30分の1程度と小さく人体に入りやすく、呼吸器系や循環器への影響を及ぼす物質である。



吉岡西部地区開発は

町長 県道改良工事を見ながら



なか 中 議員
がわ 川 議員
ひさ 久 議員
お 男 議員

議員 吉岡西部地区の開発の見通しはあるのか。

町長 社会経済情勢の変化により、平成16年10月に事業を一旦休止した。

今後県内人口は減少する見通しであり、社会経済情勢、景気の動向を注視する。金融機関からの融資、高齢化、後継者不足など課題がある。

県道仙台大衡線の小野工区は、宮床山田の国道457号の交差点まで平成30年4月に、完成する予定である。再編入などの土地利用は、県道改良工事の動向を見て検討する。

議員 県有地を含めた黒川高等学校農業実習地跡地の土地利用構想はあるのか。

町長 建物が解体され、更

一般質問

地の状態である。平成24年度で県教育庁から返還されるが、西部地区の開発区域の一部でもあり、土地利用と合わせて検討していく。

議員 開発と切り離して、土保田街道線の改良や側溝設置を行う考えはないか。

町長 都市計画道路の吉岡吉田線との整合など、課題を整理していく。

町民研修センターの音響設備は

町長 施設管理に努める

議員 町民研修センターの大ホールは音響設備の不具合が多発している。早急に交換すべきではないか。

町長 町民研修センターは昭和57年に国県補助金を受

け建設された。

建設時には、補助金があるが、施設の修繕や備品の入れ替えはすべて一般財源での対応となり、町内の業者に委託して修繕調整によ

り使用してきた。

町内各施設の老朽度合いを勘案し、不便をおこさない施設管理に努める。



故障続きの音響設備

体罰のない学校を

教育長 体罰のない教育指導を

議員 学校における体罰が問題になってきている。「ありうる体罰と、そうじゃない体罰の線引が必要」などの政治家の発言報道もある。豊かな人間形成を目指す教育にふさわしくない。体罰をさせない取り組みは。

教育長 学校教育法第11条「児童生徒等の懲戒」に体罰の禁止が規定されている。これまでも校長会議、教頭会議、教務主任会議で、「体罰のない教育」の指導を行い、徹底を図ってきた。毎月校長に報告を求めて

きた。現在も、県教育庁が行う保護者アンケートを実施している。

指導者研修会などの活用により懲戒と体罰の違いを明確にし、教職員が自信を持って毅然とした態度で指導できるようにする。



賀 副

議員 史 博 卷 藤

一般質問

太陽光発電の導入計画は 町長 指定避難場所から導入

議員 環境省の補助事業による再生可能エネルギー導入事業で、庁舎などへの太陽光発電施設の整備を実施するとしている。庁舎建設時に設置しなかった理由は。また、今後の導入計画は。

町長 平成25年度は役場庁舎に太陽光発電を導入することにより、停電時の緊急

対策や住民の安全対策などを図る災害対策本部機能を確保するため最低限の電力を確保する。

庁舎建設時に太陽光発電を導入できなかったのは、動力に見合うだけの発電量が期待できないこと、供給が不安定なこと、当時補助金がなく、費用負担が大き

く、導入を見合わせた。

平成26年度は保健福祉総合センター、平成27年度は小野小学校、宮床中学校、吉田教育ふれあいセンター、鶴巣防災センター、落合教育ふれあいセンターの各指定避難所へ導入を計画している。



ほっとひと息教員研修

総合案内人の採用を

町長 職場内研修として



議員 志高 渡平

議員 総合案内は、新庁舎の開庁に合わせ、平成22年5月から行っている。現在は、全課の職員が輪番制により行っているが、日々、時間毎に人が変わるばかりでなく、その接遇対応も違うので、町民の評価も人によって様々である。

また、職員の日常業務をみると、時間外勤務に追われている職員もいる。職員が総合案内を継続して行うことに疑問を持つ。

職員は業務に専念させるべきであり、総合案内には専従の臨時職員を採用し、役場のイメージアップと職員の業務負担の軽減を図るべきでは。

町長 総合案内は、来庁される皆さまへのサービスの

一般質問

提供はもとより、職員の接遇向上や各課の職務内容を知るための、職場内研修としても有効な役割を果たしている。平成25年度も引き続き職員による総合案内を実施していく。

保育士を正採用せよ

町長 雇用形態の見直しを検討

議員 本町では、10年前に保育士を正採用してから、今日に至るまで、1人も正採用をしていない。この先、2〜3年間で、10人前後の保育士が定年退職を迎える。

2カ所の保育所を、民間に委託したが、人口増で町営保育所の保育士も足りない。町長は、将来の保育所運営・保育士不足をどのように考えているのか。

町長 今後も若い世代の人口が増加傾向にあるため、職員の採用や、臨時職員の雇用形態の見直しと、新たな保育所の整備も含め、さらなる研究を進めていく。



日常業務を残しながらも「総合窓口案内」

追跡取材

なじよなつたの？



あの提言は

議員が行う提言は、町政にどう反映されているでしょうか。これまでの質問の中からピックアップし、その後の経過を追跡してみました。

質問

豪雨により舞野（丸古淵橋）が通行止めになりやすい。危険で事故につながる恐れがあるが、通行止めの対策は。新しい橋をかける計画はあるのか。

答弁

地元消防団の協力を得ながら災害の未然防止に努めている。増水が予想されるときにバリケードを設置し対処。河川改修計画の進捗に合わせて改修。

処理

県による橋の工事着手は平成27年度を予定。そのスケジュールに合わせて町道を改修する。



工事が決定した丸古淵橋



優良賞を受賞した「たいわ町議会だより Volume.172」。
町長施政方針演説に対する常任委員会委員長の感想など予算関係の記事が他町村よりも充実しているや「傍聴者の声」「大好き！大和町」など住民目線の記事が評価されました。



(左上から) 浅野委員、今野委員、千坂委員、門間委員、藤原主査
(左下から) 伊藤委員長、大須賀議長、藤巻副委員長

伊藤 勝 広報委員長
全国の広報コンクールに入賞したことはこれまでに委員が心一つになり、納得いくまで作業した結果です。今後も正確でわかりやすい紙面づくりに努めていきます。

大須賀 啓 議長
議会だよりは、議会と町民の架け橋として、議会活動を町民の皆さまにお知らせする大事な役割を担っています。この優良賞を受賞したことは、本町議会においても大いに励みになります。広報委員とともに、今後も議会活動の充実に努めていきます。

第27回町村議会広報全国コンクール 優良賞に輝く

鶴巣小学校 六年
高木 優衣さん



大好き!!

大和町

落合小学校 四年
鈴木 陵太くん



鶴巣の田んぼ

私が大和町で大好きな場所は、鶴巣の田んぼです。

三百六十五日、季節ごとに稲が成長していき、田んぼの姿が違っていている風景が好きです。

私たち鶴巣小学校では五年生で夢田んぼの学習をしました。春に田植えをして苗は少しずつ伸びていきました。夏がおとずれるとそよ風とともに葉や茎がぐんぐんと大き

くなりました。秋になると田一面が黄金色に光っていました。稲刈りをした時には少し寒さを感じましたが、お米がどっさりとれました。それから数カ月すると見わたす限り銀世界になりました。この成長と動き。この風景が大好きです。

将来の夢

大和町の好きなところは、七ツ森にしずむ夕日の景色が見られるところです。田んぼがたくさんあって、おいしいお米を作っています。

将来は、農業をしたいと考えています。なぜかという、農業で使う機械を動かしたり、お米や野菜を作ったりするのが好きだからです。家で牛の世話をした

り、田植えの手伝いをしたりしています。今までに、大根や白菜も作ったことがあります。夢を実現させるためには、農業の勉強をすることが必要です。農業専門の学校に入るために、勉強をがんばりたいです。夢がかなったら、ほくもおいしいお米を作りたいと思います。

今回の表紙は

4月8日(月) 町内各小学校で入学式が行われ、吉岡小学校へ取材しました。黄色い帽子をかぶり、ピカピカのランドセルを背負った新一年生の元気な声が響いていました。



編集後記

希望のスタート

昨年の議会議員改選から、4月で一年が経過した。若葉が香るころ、多くの方が希望を抱き、大きな目標に向かいスタートする季節でもある。私たち編集委員も、分かりやすい議会・より身近な議会をお茶の間に届け、「議会だより」の発行を楽しみにして頂く愛読者を増やすよう努めていきます。

広報編集委員 千坂 裕春

議会を傍聴してみませんか?

面倒な手続きはありません。1人でも団体でも傍聴できますので、ぜひお越しください。1階の町民ホールでも視聴できます。

次回定例会は
6月11日(火)から
6月14日(金)までの予定です。

大和町議会事務局
☎ 022-345-7506
✉ gikai@town.taiwa.miyagi.jp

議会広報常任委員会

編集発行責任者
議長 大須賀 啓
編集委員
委員長 伊藤 勝
副委員長 藤巻 博史
委員 長 今野 善行
委員 門間 浩宇
委員 千坂 裕春
委員 浅野 俊彦

